

平成 28 年度第 2 回 老人デイサービス事業ゆたか苑運営推進会議 議事録

1 日 時 平成 29 年 2 月 9 日（木）午後 2 時～3 時

2 場 所 ゆたか苑内地域交流ホール

3 出席者 施設長

佐倉市高齢者福祉課 様

様（地域住民の代表）

様（認知症に所見を有する者）

（老人デイサービス事業ゆたか苑 主任相談員）

4 議 題

（１）事業所の運営・活動状況について 別添参照

- ・前回までの最高齢の方が亡くなり、最低年齢の方は他市のデイサービスに行かれて中止となり、変動がある。
- ・要支援の方の利用はない。最初は軽くてもすぐ介護になってしまいう。
- ・酒々井町のご利用者が中止になっている。
- ・江原の方は休止している。

（２）事故報告及び今後の予防策

- ・下期には事故報告はない。

（３）認知プログラムについて 別添参照

- ・利用者が集中出来る時間を考慮して20分のプログラムになっている。職員と一対一で関わることで、短い時間で難しすぎない課題で達成感が得られ、様々な効果が出ている。
- ・職員にもメリットがあるのではないかと（ 様）利用者との会話の機会や回想法にもつながる。
- ・通常のデイは集団レクが多い中、個別のレクを行なっていることで差別化が図られウリになる。ウリがなければ生き残れない。

（４）質疑応答

- ・デイサービスの近況について

営業日は？（ 様）⇒月～土曜日、1ヵ月延では260～270人が定員
小規模事業所は閉鎖している所が出てきているようだ。人材がいない。派遣に頼っているところも多いようだ。

- ・利用者の状況は（ 様）⇒認知型デイ利用の基準として認知症自立度「Ⅱa」以上としている。ゆたか苑の利用率は70%弱。

利用者のレベルも高齢化や体力、認知レベルの低下で徐々に下がってくる。在宅で認知症の方が暮らして行くには限界がある。ケアハウスも認知症の方が多くなってきた（ 様）。徘徊や昼夜逆転、ほかの部屋に入ってしまう等…。特養待機者も徐々に増えてきている。若年性認知症の方は減ってきている？いままで何人か見てきた中で、若い方は進行が早いよう。

ゆたか苑に来ている方は穏やかに過ごしている（ 様）。いい状態なので良いと思う。

- ・ オレンジカフェから利用に繋がった方が3名いる。同じメンバーで穏やかにひとときを過ごしている。ボランティアが来て助かっている。

(5) 次回運営推進会議開催予定について
平成29年10月の第1～2週で行なう。